

ジュンサイ 給食で楽しむ

三種町の小中学校 汁とゼリー「おいしい」



ジュンサイ入りのメニューを味わう金岡小の児童

「じゅんさいの日」の1日、三種町の全8小中学校の給食で地元産ジュンサイを使ったメニューが提供され、児童生徒が旬の味を楽しんだ。

メニューは、じゅんさい汁とジュンサイが入ったゼリー。町学校給食センターが考案した。

金岡小学校（近藤明子校長、51人）では、児童がぬめりのあるジュンサイを箸でつまむのに苦戦しながらも、おいしそうに味わった。中にはおかわりする児童もいた。4年の櫻庭将真さんは「おじいちゃんの沼で摘み取ったジュンサイを家で食べることもあるけど、ゼリーで食べることはない。おいしい」と話した。

じゅんさいの日は、町森岳じゅんさいの里活性化協議会が特産品をPRするために制定。英語の「June（6月）」が「じゅん」、「31」が「さい」と読めることから、6月31日にしたかったが存在しないため7月1日となった。（石井ひかり）



（令和6年7月9日（火）秋田魁新聞より一部抜粋）